

連携

第54号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にできる最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

新年度のご挨拶

院長 中鉢 誠司



お世話になっております。平成27年4月より栗原中央病院院長を拝命致しました中鉢誠司です。昨年までと同様、今後ともよろしくお願い致します。

平成27年1月に小泉勝栗原市病院事業管理者、また3月に小林光樹病院長が辞職されました。4月より病院長に就任しましたが、これまで二人が行ってきた病院運営を継続し、また医療界を取り巻く厳しい状況の中で維持していくことを考えると身の引き締まる思いでございます。現在日本は過去に例のない超高齢化を迎えようとしています。今から10年後の2025年には国の人口の30%以上が65歳以上の高齢者となります。これを受けて国は地域包括ケアの確立を求めています。地域包括ケアとは急性期医療、回復期・慢性期の医療、および在宅や施設での医療・介護と予防医療を含めた健康増進などを地域のさまざまな職種が連携して地域完結型で行うというものです。栗原市の場合、今後10年間、高齢者人口割合は増加するものの、高齢者数はほぼ一定で推移するとみられています。当院の入院患者の平均年齢も徐々に高くなっています。特に、高齢者の肺炎（誤嚥性肺炎）、心不全、脳梗塞、糖尿病、悪性新生物（緩和ケアを含む）、転倒による骨折などは増加傾向にあります。上記疾患を一人の患者さんが繰り返し発症し、入退院を繰り返すというのも高齢化社会の特徴かと思われます。そのため今後、地域の医療機関とのますますの情報共有と協力体制が求められ、また地域の訪問看護、ケアマネ、市の医療保健部門と連携し、栗原市独自の地域包括ケアのシステムを確立することが重要かと思われます。昨年度に地域の在宅患者の後方ベッドを確保するための在宅療養後方支援病院の届け出を行っています。現在、在宅診療医の皆様のご協力のもと約100名の患者さんを登録しております。まだまだ至らない点もございますが、今後ますますのご協力をお願いいたします。

4月に入りまして、栗原中央病院では、おかげさまで医師や看護師を含め、たくさんの新人や新規のスタッフを迎えることができました。スタッフが一刻も早く病院の仲間にとけ込んで実力を発揮できるよう努力をしたいと思います。

栗原市民の健康を守り、皆様が安心して暮らしていけることを目標に急性期はもとより、地域包括ケアの一端を担えるような病院を目指していきたいと思っておりますので今後とも宜しくお願い致します。



新規職員紹介



平成27年4月1日付けで採用となりました先生方です。どうぞよろしくお願い致します。



ながもとひであき
整形外科副医長 永元英明

4月より整形外科医として赴任しました。

地域医療に貢献していきながら、専門とするスポーツ整形外科領域を生かして、スポーツ障害で困ったり苦しんでいる子ども達の力になればと思っています。

地域から信頼される医療を提供できるよう努力して参りたいと思います。

よろしくお願いいたします。



まつうらまさき
内科医長 松浦真樹

4月1日付で石巻赤十字病院より異動して参りました松浦です。

専門の消化器内科のみならず、内科全般・救急外来も頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願いします。



うつみ
内科副医長 内海 さやか

丸森病院より異動となり、4月から内科医として赴任致しました。栗原市の医療に貢献できるよう努力して参りたいと思います。宜しくお願いします。



ながともひろし
内科医員 永友宏史

4月より内科医として赴任いたしました。地域医療に微力ながら貢献できればと思います。よろしくお願いします。



やまだ こう
内科医員 山田 剛

2年間の初期臨床研修を終えて引続き後期研修医として栗原中央病院で勤務することになりました。

どうぞよろしくお願い致します。

さの たかのり
内科医員 佐野 貴紀

4月より内科医としてお世話になる佐野と申します。

地域の方々の健康を少しでも支えられるよう微力ではありますが、お手伝いさせていただければと思います。

よろしくお願いします。



☆ 臨床研修医 ☆



臨床研修医 1 年目

T.M

臨床研修医 1 年目

Y.T



平成27年3月31日付け退職者

院長	小林 光樹	退職	臨床検査技師長	佐藤 徳吉	退職
内科医長	荒井 壮	退職	技術副参事	西 雅貴	退職
内科副医長	加納 伸介	退職	理学療法士	小山 幸乃	退職
内科医員	吉野 祐貴	退職	看護師長	石母田 由美子	退職
整形外科副医長	大泉 樹	退職	副看護師長	千葉 泉	退職
			看護師	高橋 英子	退職

新人さん
いらっしゃ〜い♪

第10回 連携のつどい “よらいん”

『～春だよ！全員集合～新生☆栗原中央病院と連携の輪を広げよう』

講師：栗原中央病院 地域医療連携室長 高橋 燈子

平成27年4月16日（木）に第10回連携のつどい“よらいん”を開催しました。新しい年度となり、各事業所様にも新しいスタッフが増え、顔合わせの場になればと思い、「春だよ！全員集合～新生☆栗原中央病院と連携の輪を広げよう」というテーマにしました。各事業所はじめ、栗原保健所、介護福祉課など外部からの参加者は約70名、院内を含めると約90名の参加をいただきました。グループワークでは様々な職種が一つとなり「連携を深めるにはどうしていけば良いか」をテーマに白熱した話し合いが行われました。

今後も『地域全体で地域医療を支える』をモットーにこのような事業を継続するとともに、院内・院外にとらわれず各分野が十分に力を発揮し合える風土作りの一端を担っていきたいと考えています。



☆シリーズ☆

-その2-

地域連携を目指したリハビリテーション科のチャレンジ！

リハビリテーション科 理学療法士長 荒井 豊

今回は理学療法士の役割と地域との「連携」についてお話し致します。

理学療法士は、ケガや病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、座る・立つ・歩くなどの基本動作能力の回復や維持、及び障害の悪化の予防を目的に、運動療法などを用いて自立した日常生活が送れるよう支援する医学的リハビリテーションの専門職です。



地域に住んでいるリハビリテーションが必要な方の抱える個人的な課題（医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等）にあわせ、安全な在宅生活を早期に実現するために、ケアマネジメントに基づいて必要に応じた生活支援を提供するのが理学療法士の役割です。その役割を十分に果たすためには地域の医療・介護・福祉の方々との「連携」が重要と考えています。

* 学会・研修会・論文発表 *

☆第204回日本内科学会東北地方会 2015年2月21日(土) 仙台市

『未治療の糖尿病を背景にして経時的に多発し、治療に難渋した巨大肝膿瘍の1例』

…○山田 剛, 小泉 勝, 小林光樹, 千田光一, 赤井健次郎, 中山昇一, 鈴木慎二,
加納伸介, 吉越仁美

『保存的治療により小腸軸捻転を解除し得た1例』

…○佐々木章裕, 荒井 壮, 吉野祐貴, 加納伸介, 布施 香, 木田真美, 小西秀知,
佐藤修一, 小林光樹



診療状況報告



◎内視鏡検査等状況

(単位：人)

	上部消化管				下部消化管		ERCP 関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクト ミー他		
10月	207	8	3	6	101	32	1	358
11月	178	9	3	3	56	34	3	286
12月	153	11	3	10	61	32	5	275
1月	142	18	4	5	63	28	5	265
2月	115	12	8	5	62	16	6	224
3月	155	27	9	8	53	21	4	277
年度計	2020	165	52	67	907	282	79	3572

◎手術実施状況

(単位：人)

区 分	全身麻酔				腰椎麻酔				局所麻酔						合計
	外	皮	整	計	外	皮	整	計	外	眼	皮	内	整	計	
10月	18	0	9	27	0	0	15	15	2	25	4	0	3	34	76
11月	18	1	9	28	1	0	4	5	0	17	2	0	4	23	56
12月	16	0	16	32	4	0	11	15	4	17	3	0	3	27	74
1月	14	2	12	28	1	0	9	10	3	21	4	0	4	32	70
2月	20	1	12	33	1	0	9	10	3	20	5	0	5	33	76
3月	19	0	9	28	0	0	8	8	1	27	5	1	5	39	75
年度計	256	9	123	388	16	0	96	112	28	260	33	1	52	374	874

◎救急医療状況()内及び時間内患者数は救急車搬入数

(単位：人)

区 分	外 来		入 院		時間外計	時間内 計	救急車 搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
10月	233 (56)	23	71 (42)	21	304 (98)	44	142
11月	257 (67)	15	80 (40)	17	337 (107)	32	139
12月	313 (74)	14	74 (45)	26	387 (119)	40	159
1月	345 (75)	17	72 (49)	25	417 (124)	42	166
2月	198 (50)	10	55 (33)	17	253 (83)	27	110
3月	209 (60)	20	50 (31)	24	259 (91)	44	135
年度計	3219 (800)	204	800 (464)	291	4019 (1264)	495	1759

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1
栗原市立栗原中央病院(代表)
TEL: 0228-21-5330 FAX: 0228-21-5350
<http://www.kurihara-central-hp.jp/>
地域医療連携室(直通)
TEL: 0228-21-5335 FAX: 0228-21-5336



編集後記



新年度を迎え、早1ヶ月が過ぎました。連携室も新体制でスタートし、まだまだ不慣れな部分も多々ありますが、日々の業務を全うしております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。